

佐保会兵庫県支部だより

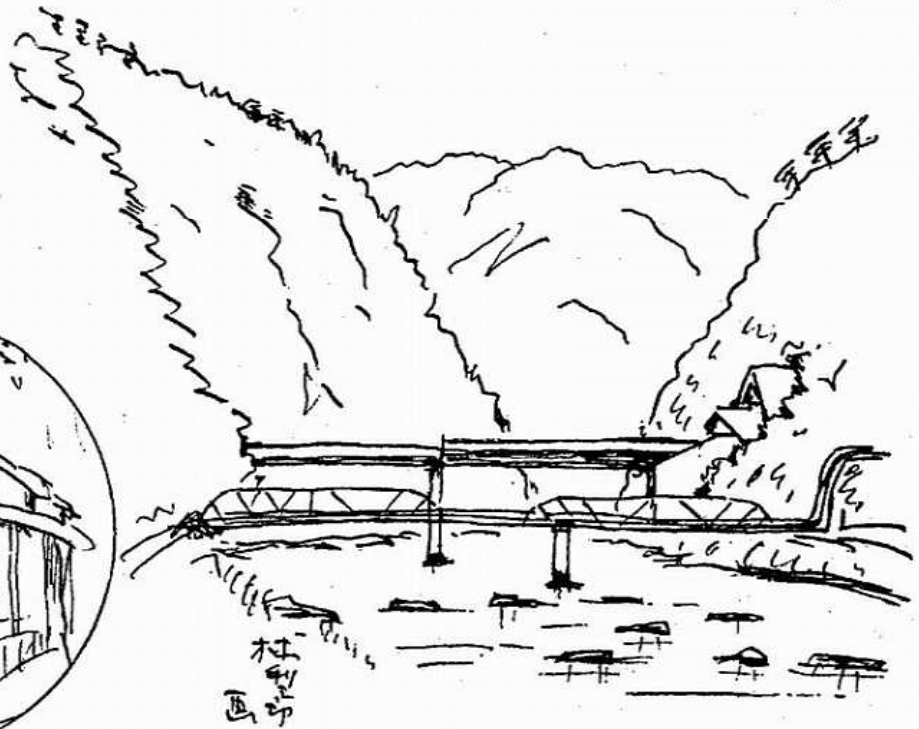
第10号

佐保会兵庫県支部事務局

神戸市東灘区西岡本6-9-18

☎ 658 電 078 - 431 - 5004

旧鉄福知山線
 武庫尾に見る今昔
 新鉄は大平からトシネルまで
 (上橋右端)
 旧鉄跡はたゞのり道はたゞのり道はたゞのり道



心温まる集い

八重野 花子 (大12・家)

兵庫支部総会に出席して、津野様はじめ、各科各期の方々にお目にかかり心おむ思いがしました。

もより会・睦会等たて横の集いも対人関係を温め素晴しく、今後

も楽しく出席したいと思えます。奈良を出てから六〇年程、大阪支部会員でしたが、実は私、神戸

支部の元町育ちで、貿易センターのあたりが懐かしくて、今回心躍

らせながら出席した次第です。外人居留地、芝生の東遊園地等あつて、その界隈の子供達と短距離を

走り、甘くないチョコレートを買って貰ったり、眼の動く人形を買って驚いたりしたものです。私は神戸幼稚園の園児で、園長先生に憧

れた幼児です。今も面影が眼に焼きつき、和服に袴姿も鮮明です。幼い頃の記憶は永く克明に、白紙の頭に残るものと思えます。

その近くに現在のモダン寺(当時西本願寺派)があつて、その寺の日曜学校に通い、遊びながら忍耐・謝恩・反省・謙虚・克己など倫理観を植え付けられ、お経を現

代的音符を付けて唄う等、幼少期を過ごした事が思い出されます。

幼な友達に、中国女性「陳」さんがいて、千代紙を分け合ったり、生活様式の相違等よく話し合いました。私が奈良の学生の頃、偶然

彼女と元町で出逢い長い立話をしました。彼女は見違えるほど立派

になりました。手には鈴木大拙の本を持っていました。理数的に優れた彼女でしたが、謙虚で奥ゆかしく

丸みが出来、健康的に発刺としてい

るのです。私は恥ずかしくなつて、話もついていけなくなり、忸怩とした自分でした。早速鈴木大拙の本を買って読みました。その

本は禅を英語で説いたものを、日本語訳で書いたものであり、広く世界に英文で発行されてきました

それが線の太い余裕を彼女に与えたものと思われま

す。その後、山田無文先生のお話を伺つたり、今年大阪の大学婦人協会の集まり

で、西村恵信先生(花園大教授)のお話を伺う機があつて、昔の彼女を思い出しました。幼児少女の頃の記憶が自分を支配して、善であれ、悪であれ、私の姿勢となつている事を思い、つまらぬ話をいたしました。

ご叙勲頂きました

田中 菊枝 (昭9・理)

天皇ご在位六十年祝賀の佳き年

勲五等瑞宝章叙勲の榮譽をお受けしました。全く思いもかけぬ事で唯々驚くばかりでした。私としては自分が選んだ道を、真剣に誠実に歩んだだけでしたのに、このような榮譽を頂きまして、真に有難く存じています。

戦後、大連市から引き揚げて神戸に落ち着いたのが二十五年夏でした。それから教員として第二のスタートを切って定年まで、約二十数年お勤めしました。

その間、神戸市教委の先生方、郷先生を初めとして佐保会の皆様から頂いたご指導・ご支援に心から感謝申しています。有り難うございました。日を追うにつれて、驚きが喜びに変わり、喜びが感謝となつて参ります。

神戸市の原田中学(私にとって初めての新制中学)で初めて担任した生徒からもらった祝辞の中にも古い昔を懐かしむ心がにじみ出ていて、ホロリとさせられるもの

がありました。

「先生が初めて、パーマをかけて教壇に立たれた日の

悪童どもの あの歓声が今、再び聞こえる心地がします。神戸に帰ったら、会いに行きます。」

私は幼い頃から体が弱く両親にずいぶん心配をかけました。それが女学校・女高師と進むにつれて丈夫になり、殆ど欠席しなくなりました。定年退職後五年ばかり市の嘱託としてお勤めさせて頂きました。その終わり頃から体調を崩して思うがままに体がついて行かなくなつてしまいました。

付き添いなしの外出を禁じられている今、病んで初めて健康であることの幸せ、有り難さがしみじみと思われるようになりました。

皆様もどうぞ健康のありがたさを思い、お元気で明るい日々をお過ごしになられますようお努め下さい。

支部総会報告

昭和六十一年度支部総会は、五月二十五日十一時より、貿易センタービル、パージュにおいて開かれました。出席者六十九名、盛会のうち午後三時半、会を閉じました。

総会次第

- 一、開会のことば
- 司会 松浪 美年子 (昭28文)
- 副支部長 安達英子 (昭18・文)
- 二、支部長あいさつ
- 津野貞子 (昭8・家)
- 三、新入会員歓迎のことば
- 四、新入会員ご紹介：自己紹介
- 五、議事 議長 津野貞子
- (1) 昭和六十一年度・事業報告
- 支部報告：寺尾喜美子 (昭33家)
- 本部報告：村田祥子 (昭31・家)
- 佐保短大報告：八木静子 (昭9・文)
- 大学婦人協会報告：竹田喜代子 (昭22・数)
- (2) 昭和六十一年度・会計報告
- 内山美智子 (昭20・理)
- (3) 昭和六十一年度・会計監査報告
- 飛島 光恵 (昭29・家)
- (4) 昭和六十一年度・事業計画案
- 杉山 レイ (昭34・文)
- (5) 昭和六十一年度・会計予算案



内山美智子 (昭20・理)

(6) 支部だより

- 前編集委員長挨拶 東 昌子 (昭19・文)
- 新編集委員長挨拶 佐藤すなほ (昭19・家)
- 六 記念品贈呈 津野貞子
- (1) 卒業五十五年祝品贈呈 九名
- (2) 叙勲・受章のお祝(下段参照)
- 七 会食
- 八 閉会のことば
- 副支部長 浅野昌子 (昭23・家)
- 会員には客員元学長川村徹先生有馬四郎先生もご参加いただきました。
- 卒業五十五周年の近藤房子、奥田納得、前田タケ子、三浦智春、川端悠記子、諏訪節子諸姉より

◇お慶び

- 田中菊枝姉 (昭9・理)
- 勲五等瑞宝章 (61・4・29)
- 鮎川八重姉 (昭3・家)
- 藍綬褒章 (61・4・29)
- 依田澄江姉 (昭22・臨家)
- 兵庫県教育功労章 (61・5・9)

卒業以来の半世紀を余る思い出のお話を伺いました。ご欠席の桜井静子、天野カズエ、菊沢道子、松田節子姉と共に皆様、御祝の堆朱のお箸をお贈りして喜寿をお喜びしました。

○ 大阪より転入の八重野花子姉より在学中奈良にて、当時の英皇太子にお茶の接待をされた珍しいお話、若々しい新入会員(次頁写真)の自己紹介など、会員層の奥深さ、幅の広さ、未来へ発展の息吹きを感じ、三世代同堂の和やかな総会でした。



公立高校の英語教育に

桑名伊都子(昭61・文)



私はある公立高校で英語を教えている。生徒は素直で明るく、学校全体がのんびりしている。校則はゆるやかで、それをめぐる生徒と教師のトラブルも見かけない。下校中バスの中で女子の生徒たちが、制服の趣味が悪いから生徒会で新しいデザインを考えたらどうかと話していた。実現するかどうかは別として、規則づくめの高校を出た私は、随分自由な学校だと驚いた。

授業中の生徒たちは実におとなしい。ところが数人の英語の好きな者を除くと、彼らの心は授業にはない。予習はしないものと決めている。今教科書のどこを読んでいるのかわかってない生徒さえいる。それで居眠りも雑談もせず、礼儀正しく坐っていられるのだから不思議だ。生徒を指名する毎にイライラしてくる。「我慢我慢。ヒントを与えてゆっくり考えさせたら、この子たちは答えられるのだ」と気を静める。

この調子で中間考査を迎え、私のクラスの平均点は他の先生のクラスより見劣りしていた。責任を

感じて、私は一転して怖い先生になった。暗唱テストをしたり、同じパターンの文ばかり数十回読ませたり、期末考査で出題者の先生が目されるであろうページの小テストを繰り返したりした。結果、平均点は上がった。しかし、味気ない。生徒に英語への興味を起させて自発的に勉強するようにもってゆき、しかも点数が上がるという授業はできないだろうか。自分の力量不足を感じている。

フレッシュさんの声

コンピューター

プログラムの

中村 浩子(昭61・理)

この度の佐保会兵庫支部会では、多方面で活躍の諸先輩方に暖かいお言葉を頂き、大変感激いたしました。

現在私は三菱重工業(株)神戸造船所にてシステム・エンジニア(SE)をしております。SEの仕事はコンピュータの端末を用いて、いろいろなプログラムを開発していくことです。大学の専門とは全く違う分野なので、はじめは、うまく適応してやっていけるかと

不安でした。しかし七・八月にかけ、自分の名前のついたプログラムを一つ作り上げてからは、次第に仕事が面白くなってきました。

このやりがいがある仕事をこれからもっと勉強し、頑張りたいと思います。そして仕事に慣れましたら、大学時代、筆曲部飛鳥会に四年間在席しておりますので、そちらの方も手をのばしてみたいと思っております。

まだまだ未熟者ですが、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



右より

中村浩子 和田真理子 岩崎美佳
前田美恵 松山裕美子 須田泰子
さん

伊藤ハムで商品開発

和田真理子(昭61・家)

先日、兵庫支部総会に出席させていただき、様々な方面で活躍中の先輩方にお会いする機会を得ました。そこでは奈良女子大学伝統に改めて感動し、佐保会に名を連ねる自分も、佐保会員の名に恥じないよう、がんばらねばと背すじを正す思いがしました。

現在、私は伊藤ハム(株)に勤務しております。男女雇用機会均等法が施行されたといえども、ここでは、全く男性中心で、女子は補助程度にすぎず、給料等の待遇においてもその差は歴然としています。また、女子社員の意識の上でも、「どうせ女だからできない」という甘え、あきらめや、「どうせ二年ぐらいいたら辞めるから」という腰かけ意識が目立ち、出鼻をくじかれた思いです。

所属部署は開発本部商品開発部テストキッチンというところで、料理講習会やモニターテスト、及び様々な商品試作を行っております。新入社員ながら商品の開発・改良に携わることができ、とてもやりがいを感じています。しかしながら、商品を製造販売する会社と、商品を購入・飲食する

消費者の希望との間に大きなギャップがあることにたいへんショックを受けました。将来、妻となり母となり、夫や子供に食事を与える身を思うと、そのギャップが少しでも小さくなったらと思う今日この頃です。

パソコンとにらめっこ

前田美恵(昭61・理・数)

三菱電機(株)に入社いたしました五か月、いつの間にか夏が過ぎようとしております。

昨年までなら今ごろは、クラブの合宿で一日中、的に向かって弓を引いておりましたが、今年は、それとは違ってかわって、パソコンとにらめっこ、という生活。

奈良でののんびりした毎日が懐かしく思われます。

今年男女雇用機会均等法元年とか「仕事」というものに対する自分の考えを問い直し、「想像以上にたいへんそうだな」と実感いたしております。

五月の支部総会でお目にかかった先輩(大・大先輩!)の皆様のように、「すてきな女性」になるべく努力してゆくりつもりでおりますが、どうなりますことやら。どうか、よろしくご指導お願い申し上げます。

お互いを知りましょう

—各世代の方にアンケート—



今回は特別企画として、できるとめてみました。
 だけ多くの会員の皆さまに参加して、私達会員の関心事や、生きがい
 ていただく事を意図しまして、各などがどのように表現されている
 世代の方々の意識の理解をしいか興味深いものがあるようです。
 たく、往復ハガキで全体で九十人みなさまのご意見はどのへんで
 に質問させていただきました。結果、しょうか。楽しくご覧下さい。
 果を後記の表のように年代順にま
 ◎印は複数の回答。

愛読書 3〜5冊(理由・内容など)

現在関心を持って おられること

生きがいにして おられること

今の お仕事

現代の教育問題について考えられること

<p>30 代</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幸福論・ヒルティ、恋愛論・亀井勝一郎 ○白痴・ドストエフスキー、ブルースト印象と隠喩・保莉瑞穂、音楽の表情・粟津則雄、杏子・古井由吉、影の獄にて・R・V・Dポスト、ユング心理学入門・樋口和彦、萩屋望都作品集 ○And I love her 片岡義男…私自身のめざすOLの暮らしの描写 夏への扇・A・ハインライン、人、犬に会う・ローレンツ、SF ○三毛猫ホームズシリーズ、点と線、週刊紙・赤川次郎作品集 ○お産・育児法、リビングブック ○沈黙の春・カーソン、フラクタル幾何学・B・マンデルブロ、リルケ詩集 ○福井達雨の作品、日本歴史展望、アジア農村のダイナミズム、もう一つの突出予算・大阪YMCA 	<p>20 代</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域社会の動向 ○音楽と小説(楽器の演奏や小説の節立てから浮かび上がってくる様々な人間心理 ○大型間接税、スパイ防止法はどうなるか。円高の影響 ○ヨーロッパ社会について(歴史・人・文化的財産) ○留学について、ヨガ ○茶道 ○未婚なので、結婚について ○来月出産予定なので、出産と育児にいま頭がいっぱい ○アジアの国々の社会情勢と民族学 ○子どもの独立する十年後をいかに生きるかの準備 ○生徒指導、カウンセリング ○授業に数学史を折り込むこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○家族と楽しく暮らすこと ○いま現在の勉強近代国文学専攻 ○まだ自分が生きていることしか実感出来ない。知り、学び、想い、感じることに ○サンゴ礁でのバカンス ○まだまだ成長したい。いろいろ知りたい ○仕事と趣味。茶道・華道 ○趣味の音楽(エレクトーン)を子どもたちに教える ○人の和、よい家庭づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア活動、アジア各国の青年との交流 ○模索中、だれかヒントを家族によい食生活 ◎子どもの成長 仕事と家庭の両立 	<ul style="list-style-type: none"> ◎無職 8人にピアノ指導 フリー 高校教諭 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師のプライドが高く、親が学校に口出しにくい。 ◎学校管理が厳しく保守的になった。教師に個性がなくなりものを言わなくなった。私自身も含めて。 ◎塾に頼らずともよい教育を。教育コースを複雑化し、一般人にも門戸開放し、カムバック出来る事を。与えられる事に慣れ、自ら考え資料を操ることが欠けて 	<ul style="list-style-type: none"> ○学力で人間を評価、人間性不在教育の結果、自己中心人間を作り出す。人間味のある、ゆとりある教育を、様々の教育問題は、学校集団の中に個性を閉じ込めようとするための必然の結果と思う。 ◎教育の荒廃は社会と密接にかかわるので、教育のみ取り上げても仕方がない。 ○自然にふれる機会を多くして、神・自然の中にいるすばらしさを感じるような教育を。 ○いじめ問題は小・中・高校でのつめ込み教育のはけ口として起るのでは。面白味のある授業を。 ○教科書検定・歴史教育に政治力が加わることに憤慨。 ○社会全般の問題が子供に反映してクローズアップされている気がする。マスコミの行き過ぎを憤る。愛情を求め 	<ul style="list-style-type: none"> ○現代の教育問題について考えられること
---	---	--	---	--	--	---	---

- 複合汚染、森瑤子、向田邦子作品集 佐藤達夫画文集
- 推理小説、エッセー等の文庫本
- 婦人公論、暮しの手帖、サザエさん
- 育児百科・安心育児・松田道雄・食品成分表実用書ばかり
- 特になし

と(数学の過程、考え方を教えたい)

- 写真、パソコン、スポーツ
- ◎ 育児、三児の健康な成長
- ◎ 安全な食生活、お弁当献立
- 住居、間取り、インテリア
- 健康、スポーツ一般、水泳

- 趣味、家族の幸福
- 特になしが、あえていえば身のまわりの物を手づくりすること。(衣類、インテリア、おもちゃ)
- ◎ 家族の身心の健康に努める

中学教諭
 (数学陶芸)
 ◎主婦
 ◎育児

いる。

- 憂慮すべき時に来た。(利益本位・物中心の社会)
- ◎ 学力偏重、人間性切り捨ての教育、まわりにまどわされず人間らしく育てる、先ず親が真剣に生きたい。
- 今春長男が私立中学に。運よく充実した教育を受けている。塾の二年間疲れたが。今も良い教育がある。

- 人間を見つめて・神谷美恵子
- 複合汚染。太郎物語・曾野綾子
- ゴヤ・堀田善衛。いじわるばあさん
- 城岩・クローニン
- 生き甲斐について・神谷美恵子
- 坂の上の雲・司馬遼太郎。余白の旅
- 官本武蔵、コンチキ号漂流記、天下の世界・湯川秀樹。源氏物語、水底の歌・梅原猛
- 野上彌生子の迷路・森など
- 文庫日記・田辺聖子。百人一首解説
- 良寛・水上勉。○ 話題になった本
- 日本古代人名辞典、日本女性史

- 息子の大学受験
- 健康
- 特定のものなし、何でもやってみたいが始動してない
- 教育問題
- 新聞に出るほとんどの事に
- 関心あり、スポーツを除く
- 安心して暮せる住い
- 健康保持。子供の結婚
- 来年開設予定の「国際日本文化研究センター」のこと
- 登校拒否児の指導
- 日本、世界で遺跡・遺構の発掘調査と成果

- 点字図書館で蔵書を録音
- 家庭内の雑事に忙殺中だ
- 将来の生き甲斐を考える
- 家族の生活の中に感じる
- 子育てに必死、将来はボランティアを
- 今、自分のできる事をする
- 家族の健康と将来の発展
- 身のまわりの物の手作り
- ◎ 新人類によい授業をするため、自己充足の努力
- 考古学、能、書道、ゴルフ、優雅で無害な年金生活を

◎家事
 家庭教師
 高校講師
 PTA
 同窓会用
 ◎家裁
 ◎高校教諭
 元ライター

- ◎ 公立校の画一教育、規則づくめの教育を憂う。
- わが子達が指導を受けている教師に不信感がつる。
- 「受験戦争」の結果生れた教師の資質に不安を覚える。
- 子どもは一生の中で人の作りうる最も大切な作品。
- 教育問題は家庭で如何に育てるか、つまり私達の問題。
- 偏差値教育を憂う。
- ◎ 閉鎖的な学校に新風を// 社会人派遣大賛成
- 教育問題は、社会の対処、政治の姿勢に影響される。利潤追求のためであれば許され、法にふれなければ黙認される現象を生徒はどう見てる?
- とにかく異常。一人では何もできないし...と考えるうちに我が子が最終レベルに乗り、あきらめた。
- 教師、父母の要求を満たさぬ保守的な面が強い。
- 命の大切さ、生きる意義を若者に体得させたい。

- 人間の条件・五味川純平：戦争の非人間性と平和の大切さ、海軍主計中尉・小泉信吉：家族愛、落日燃ゆ：広田弘毅や家族の生き方、長い坂：三浦主水正の生き方
- いのちと命のあいだに・丸岡季子、紡ぎつづけて・永谷晴子、美を求め心・岡部伊都子
- 女ひと通りのことが出来なくちゃ・酒井美恵子：国際的視野での女性像

- 二十一世紀をになう子ども達に国際理解を。特に隣国の韓国・中国を理解し、アジアの人と助け合う国民に育てたい
- いかにかまわりに役立つ暮らしを育て、上手に年を取るか
- ◎ 戦時下の青春時代、多忙中年時代に、出来なかつた楽しく有意義な事を模索中

- 子どもたちとの対話により
- 子どもの心を読みとること
- 先輩諸姉の訓えを頂き、自らの経験をふまえて、次代をになう若人に役立ちたい
- 趣味の音楽に親しみながら社会に役立ちたい
- 若い人々に役立ちたい
- 喜ばれれば生きがいになる
- お稽古事、謡、仕舞、フォ

◎短大講
 学園講師
 児童館長

- 家庭教育にて両親がわが子の心を育てること。特に宗教的なものの考え方を大切に。機械親和性、対人困難症の人間が増えていく傾向なので、学校集団の中では、対人関係を重視し、人とかかわりがうまく出来るように。
- 文明の利器を幸福の為に使いこなす、人間教育を。北欧の生活学校・女高師時代の寮生活を思う。
- 心の面を大切に、
- ◎ 道徳教育をとり入れてほしい。
- 今の教育の修正は何十年もかかると思うが、たえざる努力を。又、学校教育の乱れは大人の世代の乱れと平行し

受読書
3(5冊(理由・内容など))

現在関心を持って
おられること

生きがいにして
おられること

今の
お仕事

現代の教育問題について考えられる
て考えるべき。

代

60

代

70

○本格派推理小説、各国の紹介書、
○愛読書なし。料理の参考書

○平家物語、万葉集、俳文、歌集ひた
くれなる・斉藤史、吉村昭や井上靖
の作品、山本健吉や河合準雄の評論

○リルケ詩集、老子(岩波文庫本)、芭
蕉七部集、幸田露伴

○人間医学(月刊誌)、自然食健康法、
森下敬一。梅の健康法：松本絃斎、
交響・玉貫寛：闘病記録小説

○家の光(月刊誌)、NHK趣味の俳
句・短歌

○歴史小説と戦争の記録もの、仙石騷
動、広島二年西組：原爆記録、風船
ばくだん：挺身隊のこと

○NHK趣味の園芸、茶道誌「淡交」、
読書が少なくなった

○徒然草：読む度に新発見がある
文化人類学、歴史

○枕草子：早い頭の回転を失わぬ為
いま必要な中高年の健康生活設計：
専門家の言論と生活への刺戟に

○春宵十話・岡潔、日本人とドイツ人
篠田雄次郎：思索の糧に

○専門書の他に推理小説：睡眠薬代
り、弁護士・和久峻三の本：推理と
法律を

○万葉集 ○源氏物語関係の研究書
典雅な世界に遊ぶ楽しさ。美術史

○勤続30年、離職しても教育
に関心がいく

○自分、家族の健康保持
◎老人問題：福祉、寝たきり、
独居、痴呆老人問題

○家庭での父の役割。父権の
あり方

○個人的に心を砕くことがな
いので、社会、教育、家庭
平和・世界の問題など

○世代交流について
○佐保婦人学級でバランスの
とれた栄養料理を習い、料
理に関心をもっている

○老人の病氣・看護・ホーム
など身の事が多い

○いかにして健全な心身を保
持するか、応分の社会への
還元奉仕ができる為に

◎健やかに老いる(一人暮らし
の永続を乞う。旅行できる
程度の健康を)

○臨教審の答申と実際の動き
○教育問題、生徒がもっと素
直になってくれないか

○科学進歩の恩恵の反面、死
の灰、男女産み分け等不安
未来社会に不安

○クダダンス等。身にいつま
で新しい事を吸収できるか

○静かな老夫婦生活
○絶えず何かに興味を寄せて
いること

○健康食の研究と指導
○趣味(書道)の学習
趣味：はり絵、俳句、俳画

○家庭教師：数学
○地域の福祉
○老夫婦で少しばかりハウス
の苺・椎茸、四季の野菜作
り、

◎花作り
○抹茶を習う、県文化協会で
兵庫文化の話をきく

○特になし。日々是好日
○旺盛な好奇心を充足させる
こと。(旅行、人との交流
テレビ英会話等)

○する事が多過ぎ、やらなけ
ればならない事はばかりであ
る

○コースを楽しんでいる
○役立つ身を願う行動する
周辺の人と温かく暮らす

○今日までの生あることを感
謝し、充実して暮らす
○信仰の「人よ・幸いであれ」
の語に感じ、老人、子ども

◎家裁
◎家事

短歌書道
晴耕雨読
高校準看

老大講師
福祉世話
自治会

音楽指導
福祉手伝
◎特にな

読書会
生花研究
ヨーガ

大学講師
看護学校

◎家事
庭仕事
おさんど

ん

○教師の質の向上を切望。
○子どものしつけの重要性を思う。子どものしつけ以上に
母親に問題あり。「知」以上に徳育を。
○自ら考え、工夫し、生み出す力を。主体性を養う教育を。
点数のみを重視せず、努力の過程を大切に。
○家庭では、食事を共にし、語り合って育てたい。
○家庭は男女共に協力して築き上げるべきものとの立場か
ら、「家庭科の男女共修」は必要。
○小学低学年で生活科が新設されるそう期待している。
○中・高校で教師の権威があまりにも落ち、子どもの善悪
の判断が乱れている。これが低年齢化することを憂う。
○家庭に於ては勿論だが、幼稚園・小学低学年より憐愍の
心を養い、道徳教育を望む。
○特に先生の養成機関に疑問をもつ。心も身も本当に健全
な先生がほしい。学問だけの先生が多い。
○家庭科の先生を立派にして、男女必修を望む。
○中高年者が若年者に対して、自信のある態度で筋を通し
た会話による説得を。迎合に終始することは、日本を亡
国に追い込むことになる危険を感じず。
○臨教審でいかなる答申がでて、実行するのは人間。良
い知恵を働かせ実行するにつくる。思いやりの心が最も
大切、教師はこういう根本を見つけてほしい。
○教師も学生も、ただ専門をきけばいいという態度でなく
教師の人格からの影響を考えるべきだ。双方に信頼感、
心と心の通いを必要と感じる。
○家庭教育と学校教育が調和よく進展することを望む。
○進学のみに終始している現状(孫が可哀そう)。日本
の将来を危ぶむ。
○愛国心・スキンシップがいま欠けてないか?

- 現代の歌集、空海、中国歴史、野上弥生子の森・迷路、秀吉と利久等
- 白内障で細字が読めない
- 陳舜臣の曼陀羅の人、入江相政の行ききて、辻嘉一の五味六味
- 聖書、三浦綾子著書、国鉄時刻表
- 万葉秀歌、平家物語、方丈記、自作の文、俳句鑑賞読本、飯田龍太
- あまりに多過ぎてここに書けない

○各国が兵力を増強していくと将来どうなるか不安

- ◎郷土史、地理・人に関心、
- 高齢者社会の一員として、
- いかにあるべきか
- 心のおごりをなくしたい

に心をそいでいる

- 青春時代のお友達のお支え
- 京阪神の同期生数人との毎月の旅行。話が楽しい
- そう意気込んだものはない
- 趣味の書道の向上
- ことばを愛しむこと

子供に数

- 老夫世話
- 心身の健康管理
- 言葉の美しさ勉強

- 登校拒否なら学校に拘束せず、親も社会の人も子どもに良き社会人としてのあり方を訓練する事が第一だ。
- 教員の質の向上の方策は如何
- 余りにも自己中心になった今、人の心の痛みを知ること謙虚になることを初等教育から、と願っている。

整理 佐藤、高木、福屋

短歌



松山 ちよ (大6・文)

ネコジャラシその葉のいろの花の穂につゆひからせて
来迎を待つ

邯鄲のシテがかりねの夢さめて踰限として舞い起ちに
けり

日下 はつ (大15・文)

おそらくはその魂われを呼ぶならむよみなる人のふと
もなつかし

朝な夕な白木のみ厨子ふき浄め花はあり来ませ我をよ
ぶ魂よ

あわれもし飛天のひれをわれ得なば君をからめてそら
を遊ばんよ

溝川 美枝子 (昭15・家)

幸をしてみて思えるあしたかな心足らいて飯炊くわれは
七草の 花手折りつつ生徒らと行く山辺のみちにしだ
しげりたる

牛尾 昌江 (昭16・文)
放たれて祈りたき夜遥か来し異邦人のごと星空を迎ぐ

竹崎 美佐保 (昭18・文)
山焼の果ての残り火切れ切れの稜線の形となりてまた
たく

尊敬と軽蔑むしろ同義語という青年と対き語れる
天井の扇風機無心にみつめいる赤ん坊柔かき髪吹かれ
つつ

山川 はる江 (昭19・保)
明けやらぬ梅雨のあしたに初咲きのあさがお一輪あわ
く静かに

教え子の結婚式に招かれて
美しき妹の寄りそう背の君は声高らかに永遠の誓いを
アマゾンの合流点に泳ぎいる孫を見ませよ天なる夫よ
漆黒のモンチベルチの天空に夢幻に長きハレー彗星
三月ブラジルに子供を訪ねて

佐藤 すなほ (昭19・家)

アンケートを終って

みなさま、どのようにご覧になりましたか。世代によってかなり興味深い特徴が示されている事をお感じの事と存じます。

項目に教育問題をあげましたのは、次頁の現場の先生へのインタビューを企画した事、又、本来は教員養成の大御所と自負して来た母校のカラーと、その変遷も読みとっていただけののではという意図もありました。

「生きがい」についても、勉強、仕事、趣味という若い世代に対して、中年は、家族、子ども、仕事、ボランティア活動、又考えられないほどの忙しさなどに特徴がみられました。高年には自分にできる事を通して人に役立ちたい、今の生を感謝して心暖かく暮らすなど年輪を重ねる毎に見せていただく、余裕のようなものが感じられました。

紙面の都合上、多数の御高見を割愛させていただきますました。何らかの機会を得まして、みなさまに御披露いただけましたらと、深く願っている次第です。御協力下さいました方々に厚く感謝申し上げます。

高木

教育現場の先生はこのように

思われています

— 中学・高校の先生方に

電話と紙上インタビュー



戦後四十一年過ぎ、日本は経済的に豊かになりましたが、飽食の時代ともいわれる今、教育の面でもいろいろ弊害が生じています。先般、佐保会員にアンケートをお願いしましたところ、さまざまなお立場から、教育の現状について深いご関心と憂慮をお寄せくださいました。

そこで、現場の諸先生方に次のような項目(一〜五)でインタビューをしました。

一、中高生を扱ってどんな苦勞がありま
すか

▽躰ができていない
●生徒の躰のことで苦勞します。特に中学の場合は大変で、一例をあげると、キャンプに行った時、ご飯をこぼしても拾おうともしない子や、自分の身のまわりのことをきちんとできない子がいます。

●高校でも、礼儀作法が全くで

わかったとしても、解決してあげられないときや、自分なりに一杯努力しても、みすみす生徒が悪くなっていくのをただ見ているしかない場合もあり、そういうときは、大変つらい思いをします。

▽自分の時間がない
●年齢的に職場の指導的立場になつてくると、授業以外にいろいろな仕事が増えて、自分の時間がなくなつてしまいます。

●男女の差なく、学校は重要な仕事をさせてくれますが、業者などまわりの者の抵抗があり、女か……という目で見られるときもあります。これらは全て苦勞とは思わず、むしろ張り合いにも思いますが……。

二、生徒の親に望むことは、どんなことでしょうか

▽生活面に配慮を
●勉強よりも、もっと生活面に目を向けて欲しいですね。

●自然と親しみ、人間としての基本的な生活習慣を家庭で身につけさせてください。

●現代の親は、子供が一人前になるのを手をかけすぎ、自立を妨げているのではないのでしょうか。三代目の行く末が気がかりです。

●勉強偏重にならず、子供の健康管理に気をつけるのが、本来の親のつとめです。

アンバランスな食生活で体調を崩す若者や、手術の糸を結べない若い外科医などが出てくるのは、親にも責任があるのではないのでしょうか。

▽本人まかせは親の怠慢
●子供を信じることは大切ですが、高校生といつても、まだ自分に自信がないので適切な指導が必要ですよ。どこかで子供を見守る目を持っていて欲しいですね。

●わが子の生き方を見定めて、自信を持って親としての意見を述べ感化させる責任を持って欲しい。

▽教師と共に次の世代へ伝承
●教師と親がお互いに責任を転嫁することなく、子供の変化をよく見つめ、子供の気持ちを理解し、信頼関係に根ざした子育てを望みます。

●他人を思いやる気持ちや、我慢強さなども、家庭の中からも育ててください。

●親は、前の世代の代表者として、次の世代へ送るべきものは、きちんと伝えてもらいたいですね。

▽子供と共に時代の認識を
●新しい時代感覚をも身につ

け、子供と共に学ぶ気持ちを持つて欲しいです。

三、今の社会に何を望みますか

▽全人教育のできる社会に
●経済的豊かさのみを追求しないで、心の豊かさを大切にしたい。心の豊かさを大切にしたい。

●テレビ・雑誌などマスコミの行きすぎや、その他悪影響のあるものは、自粛して欲しいですね。

●現代っ子の利根的な風潮は、どこから来たのでしょうか。何でもたやすく手に入り、ものの価値を考えることが少ない社会の風潮をあらため、人と物を大切に

にする社会であつて、はじめて、全人教育ができるのではないのでしょうか。

●画一的な偏差値教育や、塾依存でなく、学校で勉強して、家では手伝いをしたり、自由な自分の時間が持てるような社会を、のぞみます。

▽学校行政のひとつ
●公立中学は、身体検査・集金、校務分掌など、雑務が多すぎます。その合間をぬって、授業をしている状態です。セクレタリーやカウンセラーも置いて欲しいですね。

●公立中学は、身体検査・集金、校務分掌など、雑務が多すぎます。その合間をぬって、授業をしている状態です。セクレタリーやカウンセラーも置いて欲しいですね。

●公立中学は、身体検査・集金、校務分掌など、雑務が多すぎます。その合間をぬって、授業をしている状態です。セクレタリーやカウンセラーも置いて欲しいですね。

- 体力がとて必要だから、何よりもお休みが欲しいというのが切実な気持ちです。

四、現代の生徒をどう見ていますか

- おしゃれで、全てに甘えの多すぎる現代っ子。
- 素直で人なつこいし、明るく屈託がないが、底が浅く軽い。
- 自己表現は巧みだが、自己抑制に欠けている。
- 本を読まない。特に小説類。
- 家事手伝いなど生活経験が乏

しいせいか、手先の不器用な子が、年々ふえている。

- 思いやりや、困難なことに対するねばりに欠ける。
- 過保護で自主性が無い。自分で遊ぶことさえできない。遠足にしても何にしても、全て計画してやらないとできない。

- 皆が高校へ進学するから進學し、大学へ行くから行くというように目的に対する自覚が乏しい。
- 本質的な自覚の欠如が無気力となり、為すすべを知らない。

- 物事に一生懸命、前向きになっっている生徒に出会ったとき。
- 無邪気で純真な生徒たちに接することが、楽しい。

五、教師としての喜びと悲しみを、聞かせてください

- 喜び
 - 苦勞の仕甲斐のあったとき。
 - 特に問題児が、心を開いてくれたとき。
- 悲しみ
 - 弱い、おとなしい子に対する

接触でき、喜び悲しみを共にできること。前途洋々たる若者と共に生きられること。

- 子供が立ち直って成長するのを見るとき。そして、その子供の人生に、教師として、ささやかでも関われること。
- 心が通じ合い、信頼されると

- 悲しみ
 - こちらの誠意が通じないとき
 - 教師として、できることの限界を知る時。

いじめを見ると悲しい。

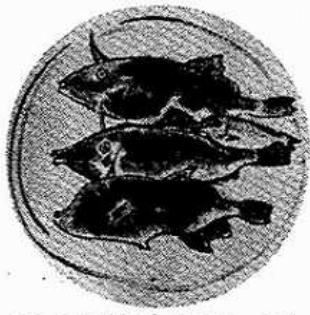
以上、紙面の都合で、割愛したり、要約したりで、先生方の意を、十分にお伝えできなくて残念ですが、生徒に対する並々ならぬ愛情が感じとられ、このような先生方と出会い、薫育を受けられる生徒は、幸せだなあと思いました。インタビューにご協力くださいました諸先生、有難うございました。

整理 大西、鈴木、藤岡

俳句

河村 良子(昭6・文)

バラアーチ訪問客の帽にふれ
懐かしき心の庭に咲くばらよ
島に来て自然と共に春を生く
ゆすらんば明石の味を運びけり



画 松田節子(昭6、保)

現代俳句協会会員

田中キサヨ(昭8・家)

花柚子のまだ追うて来る 鉄洗う
紅濃くすればじエロめく頬 初鏡
墨する音いつかあつてる雪解の音
湯豆腐のおどらぬほどの 火で待つて
初つばめ老いての 帯をゆるく締め

皆川 総子(昭12・理)

そぞろ寒 盲しいし人の手を引きて
草青む 乗り捨てられし三輪車
巢組みする声も立てずにあきもせず
てふてふに門の構えはいらぬもの

尼崎をちょっとP.R

今年市制70年を迎えました。
東側に交通動脈が8本と
南北の行き来が不便です。

● 印は佐保会員のころ
こんなに入会してきました。
どうぞむといらして下さい。



主婦のかたわらで

中村京子 (昭32理)

私は二年間勤めていた甲南大学
理教室の助手を結婚と同時に辞
めました。その後、家庭教師を引
受けた事も何度かありました
夫の帰宅時間にずれ込むこと
多くなるためきまって途中で止
てしまう有様でした。

子供が幼い時期には、子供共々
き来る友人が出来たりするも
ですが、そんな一人に、お茶の
女子大の物理学科出身の人がい
ました。幼い三人の幼児をかかえ、
の世話にテンテコ舞いのはず
、そんな様子は微塵も見せず、あ
時には、日本を訪れた外国婦人
の観光案内を引き受けられた
、ベトナム戦争反対の坐り込み
に参加されたり、その行動力には
びたびた圧倒されたものでした。
方私は、夫と子供の世話に明け
られる毎日で、そのような世界と
無縁でした。
二人の子供が小学校と幼稚園に
はい始めた頃、子供達を思いき

り遊ばせたいと願う親達で子供会
を作りました。月一回は遠足を計
画、それには家族ぐるみで参加す
るようにしました。子供達にとっ
て多くの人と触れ合えるこの体験
は貴重なものだったと思います。

この子供会の母親達が中心になっ
て婦人学級「オアシス」が誕生し、
春休みなどには、子供と合同の講
座も開きました。夏休みには二泊
のキャンプが恒例となり、父親も
参加するようになりました。「未
来のお話の会」と題して、シンポ
ジウムを催した折には幼児から父
親まで、それぞれが描く日本の未
来像について発表をしました。

婦人学級では、講師として同窓
の方々にご協力を頂きました。こ
の春故人となられた飯田志津子先
生には古典(大和物語、万葉集な
ど)の講読を、笹原順子さんには
女性の生き方と題したシリーズ物
を、水間長代さん(京都大学原子
炉実験所)には講演(放射能と細

胞)を、矢吹和代さん(淀川浄水
場)にも講演(淀川の水質)を、お
願いしました。メンバーの知人や
家族(医者、新聞記者、能楽師な
ど)も講師に仕立てられました。
わずかな講師料はどなたにも受け
取って頂けず、皆のお茶菓子代に
変わってしまったのでした。



上の子が中学の時に転居、洗濯
をしながら新聞を読んでいるだけ
で昼になってしまふ、そんな生活
が続いていた八年前のある日、新
聞に「主婦テスター募集、生活科
学研究所」の文字が見えました。
一次の筆記、二次の面接と二十年
ぶりにテストを体験しました。ポ
ランティアにテストがあったので
す。その後このテストはさすがに
改められました。研究所に行くの
は週一回十時〜三時です。

最初のテーマは「食用油の酸化」
で揚げ物の回数に伴う酸化を調べ
ました。普通にさし油をしなが
ら、五、六回揚げ物に使った油で
も酸化価は大きくない事がわかり
ました。

二つ目のテーマは「米糠の洗浄
力テスト」で米糠、小麦粉、うど
んのゆで汁などと、石けん、合成
洗剤とを比較しました。油污れを
とるテストでは石けん(固形、粉
末)が最も優れていましたが、皿
洗いには糠・小麦粉に軍配が上が
ります。古い小麦粉小匙一〜二杯
を二ℓほどの微温湯によくとかし
て用います。

三つ目は「冷凍保存中の脂肪の
酸化」のテストで鶏ミンチ、合い
びきミンチは、あまり酸化しませ
んが鯖の場合、空気に触れる状態
で保存すると、二週間で変敗の限
界七〇(カルボニル価)近くにな
りました。一方ラップできっちり
包むと、六か月経っても、ほとん
ど酸化は進みません。魚を冷凍保
存する際には、包み方に注意する
事が大切です。

一昨年から、このような問題に
ビデオも使うようになりました。
ビデオ作品の一本目は「迷いごみ
―散乱ごみ」という題でポイ捨て
防止を願って作りました。タバコ
一本捨てても二十万円以下の罰金
という法律があることを、この時
知りました。二本目は「夕映えの
館―老人ホーム」、三本目「笑顔
いつまでも―老人介護」、共に老
齡化社会に向けて、私達の不安を

盛りました。四本目は「ホームフ
リージング」、先の冷凍保存中の
脂肪の酸化の実験を映像化しまし
た。五本目、現在、輸入食品に取
り組んでいます。

この県立の研究所は、消費者自
ら実験が出来る貴重な施設で、実
験設備も非常に充実しています。
これから商品は増々複雑になるで
しょうし、それに伴って消費者の
あり方もクローズアップされてく
るでしょう。



パリ滞在の思い出

特別御寄稿 (仁川在住)
望月 和子 (昭24・理)

一九八四年の六月、成田空港を飛び立った私は、アンカレッジ経由で十七時間の空の旅を終え、パリのドゴール空港に着いた。

今回は四度目のヨーロッパ訪問であったが、パリ大学の物理の方々から、再三にわたる熱心な招待を受け、最も気候のよい時期を選んで六月はじめから二か月間滞在し、パリでの生活を心ゆくまで満喫することができた。

パリの町は東西に流れるセーヌ川をはさんで、ルーブル、サクレール寺院、凱旋門などの立ち並ぶ右岸と、カルチュエラタン、モンパルナス、エッフェル塔などのある左岸に分かれている。東の端にヴンセンヌの森が、西の端にプローニュの森が濃い緑の美しさをたへて果てしなく広がり、市民の憩いの場として親しまれている。

この他にも多数の公園があり、出とりどりの花が咲き乱れ、マロ一エの木陰のベンチで本を読んだり、編み物をしながら子どもたちを遊ばせている光景はパリの特色

の一つである。ブローニュの森の界限には高級住宅が豪華なたたずまいを見せていた。

私は最初の数日をエッフェル塔に近い日航ホテルで過ごし、その後、大学近くのホテルで過ごした。超近代的な高層ビルの日航ホテルと、大学に近い小じんまりした家庭的雰囲気を感じられるホテルの両方に滞在してみて、それぞれの特色を肌で感じることができた。両ホテルは場所的にも、西と東の端に位置していたため、全く趣きの異なる場所に住んでみて、パリの町がもつ色々な顔を知ること



とができた。毎朝食堂で観光やビジネスでパリを訪れていたヨーロッパ諸国、アメリカ、ブラジルなど色々な国の人達と朝食を共にし、おしゃべりを楽しむことができたのも、小さなホテルのよさである。

ソルボンヌをはじめとして、多くの学校がたち並ぶカルチュエラタン一帯は教育の街であり、活気に満ちた学生街である。その中で、比較的新しい高層建築が理科系のパリ大学第6と第7である。

両者は、学生騒動で有名な「五月革命」のあと二つに分離したものだそう、私が所属したパリ大学第7は、主として若い教授連が古い体制の改革を唱えて独立したものだと言われた。パリ大学第6は、別名「ピエール・マリー・キュリー研究所」と呼ばれていて昼食に通った職員食堂の壁にその名が刻まれていた。

パリに着いた翌日、大学に出かけると、私の居室の机の上に美しい花が飾られていた。これは研究室の人達の歓迎の心づかいらしく、ほのほのとした暖かいものを感じ楽しい滞りの始まりとなった。

六月はじめから、一学期の試験週間が始まっていたが、パリ大学でも日本の大学と同様、一回の試

験でパスする学生は多くなく、教室の前の廊下にずらりと腰をおろして口頭試験(追試験)の順番を待っている光景は、我々の大学と変わらないものであった。教授達は教育に熱心で、講義の準備にかなり時間をかけているようであった。

私はフランス滞在中、毎週一回

ずつ、研究者を対象とするセミナーで、私が主力を注いでいる研究

課題について、毎回三時間あまり

話をすることを依頼された。決して

流暢とはいえない私の英語のレ

クチャーにも拘らず、熱心に聞いて

下さり、質問や討論がながびい

て、午前十時から始めたセミナー

の終るのは、いつも午後二時近か

った。セミナーのあとは、主なス

タッフが私をレストランに誘って

下さり、ワインを飲みながらゆっ

たりした気分为本場のフランス料

理を楽しみながら、日本とフラン

スの教育制度のことや、物理学者

としての研究の進め方などにつ

て語り合い、賑やかな時を過ごし

た。食事のあとは毎回、教授自身

が案内役をとめて下さり、パリの

町の散歩を楽しんだ。寺院や美術

館をはじめとして、荘重なたたず

まいの建築物に、パリの町の歴史

まる七月半ば頃までは、パリの町は夜十一時を過ぎても街灯があかあかとともり、カフェでお茶を飲む人、家族連れで教会での音楽会から帰宅する人々、街角にたむろして、パイオリンやアコーディオンを弾き、思い思いの服装で歌ったり踊ったりしている若者達で昼間以上の賑やかさであった。

日曜にはどこからともなく響いてくる教会の鐘の音に誘われて礼拝に参列した。サンジェルマンデプレ界隈のサンシエルピス聖堂は私のホテルから歩いて三十分の所にあり、パリ滞在の後半、毎日曜に通った教会である。この聖堂は十二世紀に働く農民のために建てられたものだそう、有名なサンジェルマン・デプレ聖堂の美しさとは対照的な質素なたたずまいであったが、私は親しみを感じた。

足が不自由で殆んど這うようにしてしか歩くことのできない老婦人が老紳士に支えられて、ひたすら祈りを捧げていた姿は今も忘れられない。

礼拝のあとは、バッハをはじめとする古典音楽の演奏が三十分間つづき、胸にしみ入るようなパイプオルガンの響きに心のやすらぎを覚えた。

昭和61年度 佐保婦人学級

神戸市教委の委託をうけてきた
佐保婦人学級も四年目を迎えます

私たちは三年に渡り、高齢者と
う側から社会をながめ、自分た

- ◆とき 下記の月曜日午後1時～4時
- ◆ところ 親和学園汲温会館（神戸市中央区中山手7丁目）
- ◆会費 年間 3,000円 1回 500円

月日	学 習 内 容	講 師
6・9	開講式、今年の抱負、懇談	
6・23	わが家の自慢料理（お客様へのランチ）	川端悠記子
7・7	リフォームの実際（ランチオンマット）	安達 英子
7・28	わが家の自慢料理（牛肉のたたきなど）	杉山 レイ
9・8	リフォームの実際（和服をいかして）	井上 たみ
9・29	わが家の自慢料理（ポテトをつかって）	坪根 ミキ
10・13	奈良を訪ねて（老人ホーム、史跡…etc）	八木 静子
19・27	わが家の自慢料理（豆腐をつかって）	山田 桂子
11・10	工作（便利な座椅子）	内山美智子
12・1	わが家の自慢料理（業務用だし）	上田ユクエ
〃	〃（手うちうどん）	近藤 房子
1・19	〃（天ぶらを楽しく）	内山美智子
1・26	リフォームの実際（タイの山岳民の服より）	北川 秋子
2・9	わが家の自慢料理（ボルシチ、ピロシキ）	津野 貞子
2・23	作品展示、まとめ、閉講式	

ちの経験を如何に社会に還元し、
又若い人たちのいぶきを吸収する
か、問題点を探り学習を重ねてき
ました。今年自己をみがくと同
時に、三年間のまとめを實踐にう
つそうと励みあっています。

九月には子供の衣類など栄光園
に寄贈しました、古切手を蒐集し
てボランティア活動にもとりくん

でいます。

十月には佐保苑をたずねて老人
ホームとの交流も深めていきたく
とねがっています。

佐保会員以外の方も誘われお気
軽にお出かけ下さい。

なお、学習の歩みとしての「ア
ドバンスド・エイジのための食研
究」を発売致しました。ご希望の
方は事務局までお申し込みくださ
い。

事務局だより

- ◆行事（昭和60・10～61・9）
- 本部会報、支部だより第9号
- 会計報告書発送（60・11・26）
- 新年会（支部だより編集反省会
もかねて）（61・1・7）出席31名
- 昭和60年度佐保婦人学級閉講
（61・2・25）於神戸勤労会館
- 支部総会・議事、田中菊枝姉叙
勲お祝、記念品贈呈（61・5・25）
於パーク出席71名（新入者9名）
- 昭和61年度佐保婦人学級開講
（61・6・9）於汲温会館
- 睦会（60・9・10）

計 報

飯田志津子（T4・国漢）61・3・9）
西牧ユキヨ（T3・国漢）61・3・20）
本多 康（T15・文）61・4・13）

もより会ご報告

- 60・8・26 灘地区 9名
- 60・10・26 北地区 10名
- 60・11・17 伊丹地区 11名
- 60・12・23 東灘地区 20名
- 61・2・2 尼崎地区 12名
- 61・4・5 須磨地区 10名
- 61・5・10 姫路地区 20名
- 61・5・16 芦屋地区 12名
- 61・9・28 西宮地区 10名
- 61・9・28 北地区 10名

◇

西宮地区は会員が多いため、お世
話係でアンケートをとり、もより
会を希望される方が三十九名、そ
して当日のご都合で十名が出席。
午後のひとときを西宮に移られた
斉藤幸姉はじめ、橋本、正田、吉
田、長岡、長岡、永吉、佐々木、
水上、福田諸姉が集われ、たて横
に和やかなお話がはずんだ由、正
田姉よりご報告がありました。

◇

北区では今年度は二回されました
松山・八重野両姉のお世話で静
かな山里の無動寺にて、宝物の仏
像を拝見、庵主夫人の心づくしの
精進料理も素晴らしく、お一人づつ
のお話も回を重ねる毎にしみじみ
と、生き甲斐の感じられる一日で
あったと皆様より伺いました。

編 集 後 記

総会直前にお引き受けすること
となり、急拠チームを編成、アン
ケートと、インタビュを柱にス
タートしました。

アンケートは、限られた紙面を
考え、会員八百五十名のほぼ一割
ほどのお声ながら、年齢順に読み
ますと、皆様の人生の重味が伝っ
てくるように思われました。武庫
之荘の三人でまとめました。

◇

教育現場の先生へのインタビ
ューは、園田の三人で多くの方々
に当たり、このまとめ方ではずい
ぶん勉強になったとのことでした。
また、貴重なご体験のエッセー
を多くの方にいただき有り難く存
じております。林先生には、表紙
画のために、八月に新線開通の福
知山線に出かけて下さいました。

こうしてお仕事が終わってきま
す、今までの方のご苦勞もわかり、
「これから読み方が変わるわね」と一
同で話し合っております。

数々の不行届きの点お詫び申し
上げますと共に、お気付きの点、
次回へのご意見など、どうぞ事務
局までお寄せ下さいませ。（佐藤）

編集委員

佐藤すなほ、高木津多子、福屋敦
子、大西翠、鈴木久子、藤岡利子